

社長メッセージ

「最高の安心」と「最大の満足」をお届けする生命保険会社を目指して

平素より大同生命をご愛顧いただき誠にありがとうございます。

平成24年度の日本経済は、震災復興関連の需要等により、夏場にかけて回復傾向となりました。その後、世界経済の減速等を背景として輸出や生産が減少するなど、景気は弱い動きとなりましたが、年度後半には、世界経済の持ち直し等により、日本経済に緩やかな回復の兆しが見られました。今後も、海外景気の下振れが国内景気を下押しする懸念があるものの、経済・金融政策の効果等を背景に、景気回復へ向かうことが期待されます。

生命保険業界におきましては、「お客さまに安心をお届けする」という生命保険事業の社会的役割をより一層発揮することが求められております。さらに、金融システムの安定化に向けた国際的な規制見直しの議論が進む中、従来以上に適切なリスク管理、健全な財務基盤の確立が求められます。また、少子高齢化の進展、お客さまニーズや販売チャネルの多様化等により、商品・サービス競争がますます激しくなることが予想されます。

当社におきましては、そうした環境変化等も踏まえ、「適切な収益・リスク・資本管理と経営資源の配分により、一層強固な経営基盤を構築するとともに、企業価値のさらなる増大に向けた挑戦を通じて、“安定的・持続的な成長”をより確かなものとする」という中期経営計画（平成25～27年度計画）の全体方針に基づき、以下の施策に重点的に取り組んでまいります。

①コアビジネスのさらなる強化

中小企業経営者のさまざまなニーズにお応えする商品の提供等を通じ、「コアマーケットである中小企業市場のさらなる深耕」と「新たなマーケットの創出・拡大」に取り組んでまいります。特に、中小企業経営者・事業主が重大疾病（がん・急性心筋梗塞・脳卒中）に罹患された場合の「事業継続の危機」に対応する商品「Jタイプ」を定期保険とあわせた主力商品と位置づけ、両商品の一体的な推進を一層強化してまいります。

②さらなる“業務革新”の推進

「募集活動、契約手続き、アフターサービス、お支払」等、お客さまと関わるすべてのプロセスにおいて、新たな



IT技術を活用した業務革新に取り組み、より高品質で効率的なお客さまサービスの提供態勢を構築してまいります。

③安定的な資産運用収益の確保

収益・リスク・資本の一体的な管理のもと、資産運用収益の向上と安定的な確保を目指してまいります。

以上のように、今後も36万社におよぶ契約企業をはじめとするみなさまのご負託にしっかりとお応えするとともに、「加入者本位」「堅実経営」という創業時からの基本理念を守り、「最高の安心」と「最大の満足」をお届けできる会社であり続けられるよう、全役職員が一丸となって一層努力してまいります。

今後とも、何とぞご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年7月

取締役社長

喜田 哲弘